

童園からの便り



三〇会の皆さんと海水浴に行きました！

大雨警報の出るあいにくのお天気でしたが、今年も三〇会の皆さんと上天草市のパールサンビーチに海水浴に行きました。恒例のスイカ割りのほか、宿舎ではカラオケも楽しみました。

女子バレーボール九州大会出場！！

熊本県大会で準優勝した女子バレーボールは8月19日～21日に佐賀県で開催された九州児童福祉施設球技大会に出場しました。全力を尽くしましたが、予選リーグ敗退の結果に終わり、来年度こそ優勝を目指すことを誓いました。なお、男子の野球は県大会で接戦の末敗れ、九州大会出場はなりません。



キャンプに行きました！

カブとビーバーの子どもたち(小学1年生～5年生)は7月24日～26日の2泊3日で南阿蘇村の龍山山の家へ、ボーイの子どもたち(小学6年生～中学3年生)は7月24日～27日の3泊4日で久木野教育キャンプ場へキャンプに行きました。雨に降られた日もありましたが、楽しい日々を過ごすことができました。

風見鶏通信

児童養護施設 藤崎台童園
後援会会報

2013年9月発行

vol.1

◎発行者：藤崎台童園後援会

〒860-0007 熊本市中央区古京町3番5号
TEL 096-352-5063 FAX 096-352-5445

後援会会長 就任の ごあいさつ



千里の道も一歩から

後援会会長 潮上 亜昭

いつの間にか、連日の猛暑日も過ぎ秋風が漂う季節になってまいりました。皆様、お変わりなく元気にお過ごしのことと存じます。

卒園生の悲願でありました藤崎台童園後援会がやっと発足することができました。後援会の設立については、早くから卒園生をはじめ多くの関係者の皆様から、ことある度に声が上がっていたところです。

折りしも、一昨年に開催された藤崎台童園65周年記念祭の折に、その趣旨・目的について説明をし、出席者全員の賛同をいただいたところですが、繁忙の為？今日に至ってしまいましたことをお詫び申し上げます。

立ち上げにつきましては、役職員をはじめ多くの皆様のご協力をいただきました。また、事務局には事業計画、規程の作成、文書の発送など当初から多大なご尽力をいただいております。心から感謝申し上げます。ご承知のとおり、わが国は戦争により列島全土にわたる大空襲を受け、何もかもが

破壊されてしまいました。親が亡くなった子ども、家が焼かれ住むところがなくなった子どもなど多くの子どもたちが街をさまよっていました。終戦直後の駅周辺には、行き場をなくした沢山の子どもがいたと言われています。

その惨状を見かね、何とかしなくちゃと、学生同盟を中心とした若者が立ち上がり行動を起こしました。最初は、誰かれ関係なく日替わりの子供たちを西光寺に引率、まず、食、住の世話と言った子供の命、ライフラインを確保することから童園の歴史が始まったと聞いています。その後、多くの人たちの世話をしていただきながら次第に物心両面にわたる支援体制が整い、子どもたちも落ち着いて生活ができるようになってきたと考えられます。その後、昭和24年に現在地に児童養護施設藤崎台童園が認可整備され、最後まで子どもたちと寝食を共にしてこられたのが田中昭二、四方晨、宮原稔の3名の先生方と伺っております。(詳細は「風見鶏を仰ぐ子供たち・私の90年」に記載)

私自身については、心豊かな平野園長、村山先生、野球・相撲・ボイスカウト・山登り・勉強に指導員として、あるときは兄さんの先輩として何時も私たちの側にいてくれた尾里先生、また、母親・姉さんの存在として保母さんたちが子ども一人一人を分け隔てなく育てていただいたと思っています。

おかげ様で多くの卒園生がいろんな分野

で職業人として、社会人として、家庭人として、それぞれの道を歩んでいます。童園で学び得た体験は大きな財産になっています。本当にありがとうございます。

”思い出は淡く、されど懐かしい”という言葉がありますが、童園で過ごした過ぎし日のあれこれがいま懐かしい、卒園生の多くが持っている気持ではないでしょうか。今、経済社会の変化に伴い格差が拡大し、子どもの養育を放棄する若年層世帯が増加し、早急な支援を必要とする児童数も増加しています。

一方、施設運営を取り巻く情勢も、年々厳しくなっていると聞いています。これからは、従来にも増して地域社会の支え、支援が必要になってくると思われます。

最後になりますが藤崎台童園後援会に多くの皆様からご加入をいただきました。今後、子どもたちのため、学業・スポーツ・就労・生活など多方面から支援に努めて参ります。また事業・会計の執行状況は、総会、会報誌で報告したいと考えています。

”千里の道も一歩から”と言います。後援会が安定的に長く定着していくためには、一人でも多くの会員獲得が重要です。全国各地に在住している卒園生、理解ある事業所などに対する声かけをお願いします。

甚だ、微力ですが関係者の皆様と連携を図りながら、幹事一同、全力で取り組んで参ります。

引き続き皆様のご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。

後援会からのお知らせ

常任幹事になりませんか！

藤崎台童園後援会では、全国各地に散らばっている卒園生のネットワークづくりのため、地区毎の常任幹事を募集しています。常任幹事の役割は、「地区通信員」として卒園生の動静の連絡、藤崎台童園での出来事の紹介など童園と各地区居住の卒園生との間の情報の橋渡しを行い、卒園生同士のコミュニケーションとネットワークづくりを行うことにあります。やってもいいと思われる方はお手数ですが事務局(TEL 096-352-5063)までご連絡下さい。

近況をメールでお知らせください

藤崎台童園後援会では、『風見鶏通信』の中で卒園生の近況をお知らせするコーナーを設けたいと思っています。下記まで近況をメールしていただければ幸いです。

●メールアドレス fujisakidai1345@trad.ocn.ne.jp

ホームページを開設しています

児童養護施設藤崎台童園ではホームページ(『藤崎台童園へようこそ』)を開設して情報提供を行っています。ホームページ上にはブログも開設しており、日々の出来事をタイムリーに紹介しています。

●ホームページアドレス <http://www.fujisakidaidoen.biz/>

編集後記

藤崎台童園後援会もやっと体裁が整い、動き出そうとしています。しかし、後援会の成否はこれからの運営の在り方次第です。事務局の力量が問われているのは間違いありません。事務局一同、精一杯頑張っていきますので、ご支援、ご協力のほどお願いいたします。

藤崎台童園後援会
(児童養護施設藤崎台童園内)

〒860-0007 熊本市中央区古京町 3-5 ©電話 096-352-5063 ©FAX 096-352-5445
©Eメールアドレス fujisakidai1345@trad.ocn.ne.jp ©ホームページ <http://www.fujisakidaidoen.biz/>

後援会役員のご紹介

会員の皆様の懸け橋となるよう努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

藤崎台童園後援会の発足おめでとうございます。

昭和63年まで藤崎台童園の下、お能場近くで味噌醬油の製造販売を行って参りました。尾里理事長と校区のPTA活動などで一緒に過ごさせて頂く中、地域と童園の関係や必要性等が見えてきました。

一新まちづくりの会としても、福祉のまちづくりを大きな柱として活動を広げています。私も童園と地域のパイプ役として、広報係として、微力ながらお手伝いさせていただきます。



童園と地域のパイプ役として
副会長 橋本 和彦
(理事)



我後輩諸君にエールを
副会長 米村 年光
(卒園生)

童園を卒園して四十二年が経ちます。

私も今年で還暦という節目にさしかかり、決して平坦とは言えない人生ではありましたが、家庭を持ち、家族も出来て、今では『祖父』という立場にもなり、幸せな人生を歩んでいると思う今日この頃です。

人生八十数年といいますが、今年はその二度目のスタートの年とも思っています。そんな年に、童園の後援会が発足し、これも何かの縁と受け止めています。

あと十年後、二十年後もこうした挨拶が出来ることを節に願ひ、我後輩諸君にエールを贈りたいと思います。

後援会発足を機会に
少しでも協力できれば
副会長 村上 龍子
(卒園生)

このたび、後援会の副会長に就任いたしました村上です。

まだ、身体も口もかなう時に後援会が発足し、本当に良かったと思っています。18才で社会に出て、初めて不自由なく育てて頂いた事に気づき、「いつかきつと故郷に錦を飾るぞー」と思いつつ42年、何事もなく時が過ぎてしまいました。

今ではこうして元気に無事に過ごせることが親孝行と言いつてもいいです。後援会発足を機会に少しでも協力できればと思っています。

何十年かぶりに副会長という役をいただき、ふと童園での児童会を思い出しました。月に一回位でしたが、図書館で「あーでもない、こうでもない」と意見し合っていた頃を懐かしく思います。

またあの頃のように純粋に頑張れたらいいと思います。

総会は園総会と思っています。皆様とお逢いできるのが楽しみになりました。

藤崎台の輪
事務局長 尾里 裕子
(児童養護施設藤崎台童園 園長)

後援会が発足しました。卒園生、旧役職員、地域団体役員等々の皆様大変お世話になります。今、児童養護施設は大きな時代の流れの中で変革の時を迎えています。

先人の方々が勇気と知恵を出して築かれた藤崎台の地には68年間の思い出が脈々と流れています。この尊い歴史は各方面の多くの方々の支援の賜と肝に銘じています。

卒園生からの電話、手紙、写真が届くたびに皆様が社会の一員として元気に生き生きとして暮らしておられることをとても誇りに思っています。

童園ファミリーの輪が大きくなっていく力強さを感じるとともに、童園で出雲った事の素晴らしさを感じています。

「子供の最善の利益」に資するため、さらにこの輪が広がることを願っています。会の発足にあたり入会のお礼を心より申し上げます。

平成25年度事業計画及び予算

去る7月17日(水) 午後5時30分から役員会が開催され、平成25年度の事業計画及び予算が承認されました。藤崎台童園後援会の平成25年度事業計画及び予算は次のとおりです。

平成25年度 事業計画 平成25年度は次のような事業のなかから実施可能なものを行います。

● 在園児や卒園生を対象とした事業	
資格取得支援事業	卒園に際して、児童の就職自立に必要な資格(自動車運転免許など)取得のための費用の一部を助成する。
進学応援事業	大学や専門学校等に進学する児童の進学に必要な資金の一部を助成する。
才能開花促進事業	音楽その他の文化、芸術、スポーツ活動等に秀でた児童を支援するため個人レッスン費用など才能を伸ばすのに必要な費用を助成する。
卒園祝い	児童の卒園を祝賀し、お祝い金を贈呈する。
優秀者・善行者表彰	スポーツ・文化活動等で特に優秀な成績を収めた者、善行を行った者を表彰する。
児童自立支援事業	自立に失敗した児童の再就職に必要な費用、借家・借間を借りる費用など自立に必要な費用を援助する。
卒園生緊急生活資金貸付事業	生活に困窮し急迫した状況にある卒園生に対し、会長が特に必要と認めた場合に限り、緊急生活資金を貸し付ける(貸付金が不良債権化した場合の不能欠損分補填を含む)。

※なお、将来的には卒園生の冠婚葬祭に際しての慶弔金(成人・結婚・出産のお祝い、入院・災害のお見舞、死去に際しての香典・弔電など)の支給なども検討することになっています。

● 藤崎台童園を対象とした事業	
ゲストルーム整備費積立	童園の施設整備にあわせ、卒園生等が一時帰省したときの居室を整備するための積み立てを行う。
備品等購入助成事業	藤崎台童園の運営に必要な備品等の購入に必要な費用を援助する。

● 後援会会員を対象とした事業	
総会 & 交流会	会員相互の親睦を深めるため、後援会総会とあわせ、交流会を開催する。
後援会会報の発行	後援会の活動内容を会員に知らせるため、後援会だよりを発行する。

平成25年度 予算 藤崎台童園後援会平成25年度予算は次のとおりです。

● 収入		● 支出	
区分	予算額	備考	
会費収入	800,000	117名分	
寄付金収入	150,000		
雑収入	1		
後援会設立準備会会計からの繰入金	1,004,743	戸崎文庫分410,121円含む	
計	1,954,744		

区分	予算額	備考
事業費	1,000,000	
事務費	事務消耗品費	30,000 事務用品等
	印刷製本費	50,000 後援会だより
	通信運搬費	90,000 郵便代
	会議費	200,000 総会・役員会開催費
	手数料	30,000 郵便振替手数料
	雑費	54,744
施設整備費積立金	500,000	ゲストルーム整備費積立
計	1,954,744	

入会していただいた皆様のご紹介

児童養護施設藤崎台童園後援会の趣旨にご賛同をいただき心より感謝申し上げます。皆様方のご支援に応えるべく、福祉の向上とネットワークづくりのために積極的に取り組んでまいりますので、これからもご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。以下は、平成25年8月31日までに入会していただいた皆様方です(9月以降入会の方は次回の後援会だよりで紹介いたします)。

卒園生	北川(村崎)小夜己 赤星 憲明 阿部 長寿 出田 義国 井上 柳二 牛島 啓勝 内田 真嗣 大住 律子 大津 和俊 岡田 清 小山(横田)利郎 加悦(南)悦子 垣原(泉)麻也	中村 徳雄 成川 亨 西原 俊一 西原(西澤)文子 西山 和彦 新田 弘 野口 和之 林 毅雄 福田建一郎 田中 一彦 藤山 義光 洲上 亜昭 松下 清香	松下 直哉 松田 明彦 宮田 良一 村上(倉原)龍子 山田(宮本)政代 吉田 義純 米村 年光	上田(渡辺)敏子 宇藤 浩美 大久保康子 大野(上村)ひとみ 大橋寿美子 北河(宮原)稔 吉良 圭子 口元(郷)千佳子 小浦(堀内)洋子 小佐井(春日)満美子 小澄(佐藤)文子 小澄 康彦 斎藤(國方)純子	齋藤(宮川)由美 才松(米田)理砂 堺(橋本)文江 佐藤(森)裕美子 末信(松山)啓子 副島 健一 副島(田中)美千代 高倉 寿子 岡田 茂美 尾里 一清 尾里(竹内)裕子 北村 直登 高木 俊一 橋本 和彦	別府(大野)祐子 万谷 雄一 南(大川)嘉子 村上(田上)裕美子 山崎 透 福田 邦子 南 栄一 山内 優子 山田 治子 山本 信夫 猪股(蛇塚)雪美 上田 紳博 緒方 明 尾里 悦久 佐藤 英二 竹矢 寿子 堤 美子 成松 洋平	野元(岡村)美佳 松井 リエ 松本 愛 三浦 直樹 渡辺 洋子 大橋 道雄 島崎 隆 陣野 洋三 杉森 利且 竹内(尾里)育士 竹田 貞二 藤原 謙吾 前田なおみ	田北 勝子 丸山 利行 宮崎 紀男 宮本 茂弘 毛利 秀士 一新校区民生児童委員協議会 熊本'05福祉ロータリークラブ 熊本創世紀ライオンズクラブ 順不同・敬称略 カッコ内旧姓
-----	---	---	---	---	---	--	---	---